Local Democracy in France
- Do elected officials really represent the people? -

フランスの地域民主主義
―議員は本当に人々を代表しているか？―

in English

Presentation

Date　2020/2/27(Thu) 14:30-16:30

Place　**岡山大学津島キャンパス　プレゼンテーションルーム**

（一般教育棟A棟１Ｆ Waku2スクエア１内）

日本の市町村数は約1700ですが、フランスには約35000のコミューン（市町村）が存在しています。コミューンは地域民主主義の豊かさを表し、地方議員は、コミュニティの生活やまちづくりに大きな影響を与えています。しかしながら、選挙では投票率が下がってきており、議員は本当に人々を代表しているのかという疑問も生まれています。クベル教授は、（1）代表制度の修正点、（2）議員の仕事と性別、（3）現代の代表制度どのように変えていくかについて発表します。

【講師】
フランス・ストラスブール大学スポーツ学部
ミシェル・クベル教授　Michel KOEBEL

専門：社会学（地域政治）
地方議会、参加民主主義、市民参画など。
健康増進を含めたスポーツ都市政策や地方議会の研究において、30万人を超えるフランス地方議員の分析を通じて、議会制度の問題点を調査。

【お問い合わせ】
岡山大学地域総合研究センター
担当：岩淵
086-251-8468
info-agora@Okayama-u.ac.jp

5 ジェンダー平等を実現しよう
11 住み続けられるまちづくりを

UNIVERSITÉ DE STRASBOURG

OKAYAMA UNIVERSITY